

事業所名 グループホーム憩

運営推進会議開催報告書

報告日 令和 5年1月 26日 (木)		
参加者 (照会依頼含む)		議題
利用者	0名	1. 行事報告
利用者家族	0名	2. 行事予定
地域住民の代表者	3名	3. 身体拘束適正化検討委員会より
市職員	1名	4. その他
地域包括支援センター職員	1名	5. 次回開催予定日
事業所	4名	
会 議 録		
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1月26日に開催を予定していました「グループホーム憩運営推進会議」は開催を中止とさせて頂きました。今後も安心して生活をして頂ける場所の提供ができるよう、マスクの着用や換気、手洗い、消毒を徹底して行う事で感染予防に努めて参ります。</p> <p>1. 行事報告</p> <p>1月12日 岩屋堂、定光寺へ紅葉狩りに行き季節の移ろいを感じて頂きました。</p> <p>1月25日 誕生日会を行いました。手作りケーキをお召し上がり頂きお祝いさせて頂きました。</p> <p>1月24日 クリスマス会を行いました。昼食に手作りシチュー、サンドウィッチ、ポテトなどの提供を行い、おやつの時間に合わせてケーキ作りを行いお召し上がり頂きました。</p> <p>1月1日 昼食におせち料理をお召し上がり頂きました。</p> <p>2. 行事予定</p> <p>2月 節分・誕生日会</p>		

3. 身体拘束適正化検討委員会より

今回はテーマを「尊厳の保持と身体拘束について」とし、身体的尊厳や精神的尊厳を損なわない為の適切な支援について資料の作成及び配布を行い内容の確認を行って頂きました。

別紙参照

4. その他

・資料に「代替策を考え、それらを実践する」とあるが、事業所内での事例があれば教えてほしい。

(市役所高齢者福祉課様)

職員の都合を優先したケアを行う事は、あらゆる場面で身体拘束を生んでしまうものと考えています。例えば「危ない」と短絡的に結論付けて過剰な薬の服薬や言葉をもって行動を制限する事は自由を奪い身体拘束を招く事になります。その為、日頃から結論付ける前に身体拘束を行わず、どのような対応を行えば安全が確保でき、尊厳を守る事が出来るかを考えながら対応を行わせて頂く様に努めさせて頂いています。

・現在施設に入所されている方で身体拘束をやむを得ず行わなければいけない時もあると思います。出来れば拘束しないで個々の尊厳が保持できることが一番だと思いますが状況によって拘束を行わなければならない時はとても苦しいと思います。これからも希望のある充実した生活を目標に広い視野をもっていろいろな方向から代替策を考えてケアを行ってけると幸いです。

(地域包括支援センター様)

これまでに入所されている方に身体拘束を行った事はなく、現在も身体拘束をしないケアを継続して行っています。また、今後についてもあらゆる角度からアプローチをし、試行錯誤を繰り返す事で身体拘束を行わないケアの継続に努めさせて頂きます。

・コロナ感染対策が緩和され減少するもインフルエンザ流行中です。どちらも感染対策は基本的に同じくマスク、手洗い、うがい、消毒です。油断することなく気を付けていきましょう。

(地域住民の代表者様)

ありがとうございます。今後も安心して生活をして頂ける場所の提供ができ

るよう、マスクの着用や換気、手洗い、消毒を徹底して行う事で感染予防に努めて参ります。

5. 次回予定日及び令和5年度開催予定日報告

令和5年3月23日（木） 14時～

令和5年度開催予定については別紙のとおり